

令和2年度（令和元年度事業）

教育委員会の事務事業点検評価報告書

令和2年12月

出水市教育委員会

1 はじめに

出水市教育委員会では、平成30年3月に策定された第二次出水市総合計画の基本方針である「郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり」に沿って健康で明るく、主体性・創造性・国際性豊かな市民の育成を目指して、生涯学習の観点から教育・文化・スポーツの振興を図っています。

本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、令和元年度に実施した重点施策のうち5つの事業について点検及び自己評価を実施し、教育事務点検評価会議の委員による外部評価、及び教育委員による最終評価を経て報告書としてまとめましたので、議会へ提出します。

2 教育委員会の事務の点検及び評価

(1) 対象とした施策〔 〕内は担当課

- | | | | | |
|---|---------------------------|-------|---|----|
| 1 | 学校空調設備整備〔教育総務課〕 | …………… | P | 3 |
| 2 | 学習指導の充実と学力向上に関する事務〔学校教育課〕 | …………… | P | 6 |
| 3 | 出水ふるさと学寮事業〔生涯学習課〕 | …………… | P | 9 |
| 4 | 出水商業デパート〔商業高校〕 | …………… | P | 12 |
| 5 | わんぱくトライアル〔青年の家〕 | …………… | P | 15 |

(2) 評価の方法

ア 担当課自己評価（一次評価）

事業計画・手段、達成目標及び実績等に基づき、担当課として、「妥当性」、「有効性」、「効率性」の3つの観点から自己評価を行い、今後の方向性・改善点案等を明示しました。

イ 出水市教育事務点検評価会議委員による外部評価

出水市教育事務点検評価会議を開催し、担当課のヒアリングから得られた情報に基づき、出水市教育事務点検評価会議委員5人から外部評価をいただき、その意見を集約し、掲載しました。

ウ 教育委員会総合評価

担当課の自己評価と出水市教育事務点検評価会議委員による外部評価に基づき、教育委員会総合評価を行いました。

【資料 1】 出水市教育事務点検評価会議委員

氏 名	所属及び職名等
秋 吉 龍 成	市 P T A 連絡協議会代表（同理事）
肱 岡 重 幸	市文化協会代表（同会長）
永 野 裕 子	元社会教育指導員、元小学校長
杉 園 信二郎	出水地区高等学校・養護学校長会代表 （出水商業高等学校長）
林 博 光	市校長協会代表（出水中学校長）

【資料 2】 分析・検証結果を元にした方針のランク

	【総合評価】	【今後の方向性】
A	業務の内容は適切である	成果向上・費用拡大＝改善案（予算を増大してでも成果を上げる）
B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要	成果向上・費用維持＝生産性向上
C	課題が多くあり業務の大幅な見直しが必要	成果向上・費用縮小＝改善案（他の主力の力を引き出す）
D	統合、休・廃止を含む抜本的な見直しが必要	成果・費用とも維持＝現状維持
E		成果維持・費用縮小＝効率性の向上
F		事業・費用とも縮小＝段階的撤回
G		終了廃止＝終了・廃止・民営化

出水市実施計画・事務事業評価シート

(評価対象： 2019 年度)

事務事業名		学校空調設備整備		担当部	教育部	担当課	教育総務課		
				事業コード	34017	新規	会計	一般	
総合計画上の位置づけ	基本方針	4	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり				事業期間	開始	2018 年度
	施策	3	学校教育の充実					見直	年度
	細施策	5	施設整備の推進					終了	年度
	取組							経過年数	2 年
事業の性質	区分	任意の自治事務		関与性	2	受益の範囲が不特定多数の市民におよび、サービス対価の徴収ができない事務事業			
関連計画等	<input type="checkbox"/> 3つの安心		<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> 教育行政	その他 ()				
事業が必要な理由・根拠 (市民ニーズ、法令等)		日本全国で酷暑が続き、平成30年7月には愛知県で熱中症による死亡事故が起きるなど、子どもの熱中症対策は喫緊の課題となっている。(文科省においては、すべての普通教室に空調設備整備の費用として、1年限りの「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を新設した。)							
対象(だれを)		園児、児童、生徒及び学校職員							
意図(どうしたいか) ※期待する効果		快適な教室環境の整備(学校環境衛生基準による望ましい温度の基準:17℃以上28℃以下)							
手段(どのように)		普通教室等への空調設備整備							

1 行動計画(実績と計画)

<p>〈実績〉</p> <p>【2018年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校空調設備導入プロジェクトチーム設置 平成30年第4回定例会に設計費予算計上 設計業務実施 <p>【2019年度】</p> <p>設置工事実施</p> <p>対象：13小学校、6中学校、義務教育学校及び7公立幼稚園</p> <p>小学校普通教室・・・162教室 小学校特別教室・・・47教室 中学校普通教室・・・55教室 中学校特別教室・・・38教室 中学校管理諸室・・・1教室 幼稚園普通教室・・・10教室 幼稚園特別教室・・・3教室</p>	<p>〈計画〉</p> <p>【2020年度】</p> <p>設置工事実施</p> <p>対象：13小学校、6中学校、義務教育学校及び3公立幼稚園</p> <p>小学校特別教室・・・11教室 小学校管理諸室・・・50教室 中学校特別教室・・・10教室 中学校管理諸室・・・24教室 幼稚園普通教室・・・1教室 幼稚園特別教室・・・3教室</p> <p>〈整備方針〉</p> <p>1 普通教室は、全教室を整備 2 特別教室については、使用頻度が多い教室等を整備(図工室、技術室、調理室は除く) 3 管理諸室(校長室、職員室)は全学校整備</p>
--	--

2 コスト (単位：千円)

区分	2017決算	2018決算	2019決算	2020予算	2021見込	2022見込
事業費		2,930	886,938	198,200		
財源	国庫支出金		154,737	54,415		
	県支出金					
	地方債		494,360	136,400		
	その他		210,700	6,200		
	一般財源		2,930	27,141	1,185	

3 指標達成状況

指標名	単位	2017	2018	2019	2020	達成率	最終目標	最終年度
① 全ての普通教室及び選定した特別教室への空調設備の教室数(新設分)	教室	目標		227	1	100.00%	100%	2019
		実績		227				
② 管理諸室(新設及び更新)及び特別教室(更新分)への空調設備の教室数	教室	目標		89	98	100.00%	100%	2020
		実績		89				
③		目標						
		実績						
④		目標						
		実績						

4 分析・検証

評価の視点		項目	理由	判定
妥当性	継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や市民のニーズはあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	日本全国で酷暑が続き、平成30年7月には愛知県で熱中症による死亡事故が起きるなど、子供の熱中症対策は喫緊の課題となっているため。	3
	市関与の必要性 (市が主体で取り組むべき事業か)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	市立幼稚園、小学校、中学校及び義務教育学校に対する施設整備であるため。	
	役割分担の適切性 (「個人」や「自治会」レベルで担える部分はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	学校施設設置者である市の役割であるため。	
有効性	目標の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金を活用することにより普通教室及び特別教室の新設分については、2019年度までの事業完了となった。(当初の計画より1年前倒し。)	3
	手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を活用し、計画どおり事業を実施できた。	
	他団体との連携 (国・他自治体、企業、団体等と連携、活用により成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	設計及び工事においても、遅延や瑕疵等なく実施できた。また、交付金の手続きに当たり円滑に国や県と連絡調整を図り、事務を進めることができた。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	庁内のプロジェクトチームを結成し、関係課との円滑な連携を図って整備方針の策定が行えたため、効率的な事業が実施できた。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を活用し、計画どおり事業を実施できた。	
	財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金を活用	

5 方針（分析・検証結果を元に対応方針を検討する）

評価者	教育総務課長 東 秀文
-----	-------------

総合評価	有効性・効率性	妥当性				課題への対応策・業務改善についての方向性				
		0点	1点	2点	3点					
	いずれか0点	D	C	C	C	喫緊の課題である子供の熱中症予防対策に係る事業であったことから、プロジェクトチームを設置して事業計画を策定した。また、財源についてはブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金も活用したことから、投入コストなど業務内容は適切であると考えられる。2020年度においては、管理諸室への設置を計画どおり実施する。				
	いずれか1点	C	C	C	C					
	合計4点	C	C	B	B					
	合計5点	C	B	B	A					
	合計6点	C	B	A	A					
	A 業務の内容は適切である									
	前年評価	A		前々年評価						
今後の方向性	成果	投入コスト（人件費含む）				成果の方向性 (どのくらいの成果を見込むか)	コストの方向性 (直接事業費、投入職員数)			
		皆減	縮小	維持	拡大					
		向上		C	B			A	○令和2年3月に定めた「出水市立学校施設等空調設備運用基準」に基づき運転を行っている。 ○夏季及び冬季における快適な教室環境の確保に努め、児童生徒等が健康を損なう事態を防止する。	補助事業を活用した事業であることから、現行どおり実施する。
		維持		E	D					
		縮小		F						
休廃止	G									
	G 終了廃止					前年度 施策評価方針	D			
= 終了・廃止・民営化										

出水市教育委員会事務事業 外部評価・二次評価シート

事業名	学校空調設備整備	事業コード	34017
		番号	

位置 画 づ 上 げ の	出水市の 教育	施策名（重点）	学校施設等教育環境の整備充実
		施策名（努力点）	小・中学校及び幼稚園施設等の整備・充実
	総合計画	基本方針	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり
		施策	学校教育の充実
		細施策	
一 次 評 価	総合評価	A	業務の内容は適切である
	今後の方向性	G	終了廃止

【外部評価】出水市教育事務点検評価会議からの意見・助言・質問等

○暑い時だけの対策だけでなく、寒い時の対応も必要であると考えている。

○コロナ禍の中で、換気のことについていろいろ言われているが、エアコンを取り付けたことにより、換気についてはどのようにしているか教えてほしい。

○電気料について、どのようになったか教えてほしい。

【二次評価】教育委員会委員による評価（方向性）・一次評価に対する意見

		投入コスト				評価の理由・附帯意見等
		皆減	縮小	維持	拡大	
成 果	向上		C	B	A	○施設整備については、万全であったと思われる。しかし、目的は「快適な教育環境の整備」であるが、運用面（運転面）において、まだ消極的な学校があるように感じる。教室間の気温が、「望ましい温度基準」に保たれるように、積極的に運用してもらおうよう事務局側が学校側に働きかけてほしい。 ○雷などで自然災害の対応のため、動産保険に加入をお願いしたい。
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
G		廃止終了				

出水市実施計画・事務事業評価シート

(評価対象： 2019 年度)

事務事業名		学習指導の充実と学力向上に関する事務			担当部	教育部	担当課	学校教育課			
					事業コード	35047	新規		会計	一般	
総合計画上の位置づけ	基本方針	4	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり					事業期間	開始	2006	年度
	施策	3	学校教育の充実						見直		年度
	細施策	1	確かさの教育						終了		年度
	取組	1	学習指導の充実						経過年数	14	年
事業の性質	区分	任意の自治事務		関与性	9	特定の市民や団体を対象としたサービスであって、サービスの提供を通じて、対象者以外の第三者にも受益がおよぶ事務事業					
関連計画等	<input type="checkbox"/> 3つの安心		<input type="checkbox"/> 総合戦略		<input checked="" type="checkbox"/> 教育行政		その他 ()				
事業が必要な理由・根拠 (市民ニーズ、法令等)		グローバル化や情報化社会が急速に進む中、予測困難な変化の激しい社会で生き抜くため、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けさせるため。									
対象 (だれを)		出水市内小学校、中学校、義務教育学校、出水商業高等学校に在籍する児童生徒及び教員									
意図 (どうしたいか) ※期待する効果		出水市の児童生徒の学力を県平均以上、全国平均以上 出水商業高等学校からの進学率、就職率100%の継続									
手段 (どのように)		学力の定着と向上を目指して、授業改善を図ったり、各種学力調査問題等に取り組ませたりする。 地域や県内、県外の就職先との連携を図る。									

1 行動計画 (実績と計画)

【実績】	【計画】
(1) 学習指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> 学力向上プロジェクト委員会によるモデル授業づくり (年2回実施) 出水っ子学力向上推進大会の実施 (年2回実施) 研究指定校による授業公開 (3校) 教育講演会の実施 (年1回実施) ワークショップ型授業研究の実施 (各学校で100%実施) 	(1) 学習指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> 学力向上プロジェクト委員会によるモデル授業づくり (年2回実施) 出水っ子学力向上推進大会の実施 (年2回実施) 研究指定校による授業公開 (4校) 教育講演会の実施 (年1回実施) ワークショップ型授業研究の実施 (各学校で100%実施)
(2) 学力向上の取組 (各種学力調査問題の活用) <ul style="list-style-type: none"> 今週の一問 (演習問題) のメール配信 (毎週) 演習問題の取組状況の確認 (学期1回) 	(2) 学力向上の取組 (各種学力調査問題の活用) <ul style="list-style-type: none"> 今週の一問 (演習問題) のメール配信 (毎週) 演習問題の取組状況の確認 (学期1回)

2 コスト (単位：千円)

区分		2017決算	2018決算	2019決算	2020予算	2021見込	2022見込
事業費	直接事業費						
	財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源						

3 指標達成状況

指標名		単位		2017	2018	2019	2020	達成率	最終目標	最終年度
①	成果 全国学力・学習状況調査による学力の定着度の確認	%	目標	100	100	100	100	98.10%		
			実績	98.9	97.9	97.6				
②	成果 鹿児島学習定着度調査による学力の定着度の確認	%	目標	100	100	100	100	101.20%		
			実績	103.1	98.8	101.7				
③	活動 教育講演会、出水っ子学力向上推進大会の実施	回	目標	3	3	3	3	100.00%		
			実績	3	3	3				
④	成果 出水商業高等学校進学、就職率100%	%	目標	100	100	100	100	100.00%		
			実績	100	100	100				

4 分析・検証

評価の視点	項目	理由	判定	
妥当性	継続実施の必要性 <small>(事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や市民のニーズはあるか)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	学力向上については、今後の出水を支えていく人材育成のためにも、必要不可欠である。	3
	市関与の必要性 <small>(市が主体で取組むべき事業か)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	今後も、教育委員会が中心になり、学校、保護者、地域をつなぎながら、子供たちの望ましい育ちを支えていく必要がある。	
	役割分担の適切性 <small>(「個人」や「自治会」レベルで担える部分はないか)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	各学校でも取り組んでいるが、その成果や取組は、教育委員会が中心になって共有することができている。今後も、そのような指導や活動が必要である。	
有効性	目標の達成度 <small>(評価指標や意図をどの程度達成しているか)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	年度や学年差があるものの、概ね県平均以上であり、目標を達成している。今後は、全国平均以上を目指していく。	3
	手段の有効性 <small>(現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	学力向上プロジェクト委員会を組織し、モデル授業づくりにより授業改善を行っている。新学習指導要領に対応した授業を行うことができている。	
	他団体との連携 <small>(国・他自治体、企業、団体等と連携、活用により成果向上が図れないか)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	北薩教育事務所と連携した、研究指定などを行い、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりを行っている。	
効率性	業務の効率化 <small>(業務手順、内容に見直しの余地はないか)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	GIGAスクール構想による一人一台端末を使った授業改善なども進めていく必要がある。	3
	投入コストの適切性 <small>(投入するコストは適正か、削減の余地はないか)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	投入するコストはほとんどなく、各学校も主体的に取り組んでいる。	
	財源の確保 <small>(受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	人件費のみのため	

5 方針（分析・検証結果を元に対応方針を検討する）

評価者 学校教育課長 田中 真一郎

総合評価	有効性・効率性	妥当性				課題への対応策・業務改善についての方向性		
		0点	1点	2点	3点			
総合評価	いずれか0点	D	C	C	C	年々学力は向上しているが、新学習指導要領も本格実施となり、GIGAスクールの整備もなされることから、新たな教育課題を踏まえ引き続き充実を図る必要がある。		
	いずれか1点	C	C	C	C			
	合計4点	C	C	B	B			
	合計5点	C	B	B	A			
	合計6点	C	B	A	A			
A		業務の内容は適切である						
前年評価		D		前々年評価				
今後の方向性	成果	投入コスト（人件費含む）				成果の方向性 (どのくらいの成果を見込むか)	コストの方向性 (直接事業費、投入職員数)	
		皆減	縮小	維持	拡大			
		向上		C	B	A	全国学力学習状況調査等の学力調査において、全国平均を超える状況を引き続き目指す。	GIGAスクール構想への対応から、環境整備やICT支援員などの学習支援員の増員が望まれる。
		維持		E	D			
		縮小		F				
休廃止	G							
A		成果向上・費用拡大				改善案（予算を増大してでも成果を上げる）	前年度 施策評価方針	

出水市教育委員会事務事業 外部評価・二次評価シート

事業名	学習指導の充実と学力向上に関する事務	事業コード	35047
		番号	

位 計 画 づ 上 げ の	出水市の 教育	施策名（重点）	指導力向上研修の充実
		施策名（努力点）	教職員研修の充実
	総合計画	基本方針	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり
		施策	学校教育の充実
		細施策	学習指導の充実
一 次 評 価	総合評価	A	業務の内容は適切である
	今後の方向性	A	成果向上・費用拡大

【外部評価】出水市教育事務点検評価会議からの意見・助言・質問等

<p>○GIGAスクール構想に係る校内LAN整備について教えてほしい。</p> <p>○学習支援アドバイザーの活用状況について教えてほしい。</p> <p>○出水商業高校の進学就職率100%の継続が大変すばらしい。毎年、職場体験学習を受けているが、意識が高い生徒が多いと感じている。</p> <p>○ハローワークに求人を出すのが、離職者が多い職場が非常に話題になる。特に若い人の離職が多いと感じる。</p> <p>○賢い子は育つかも知れないが、忍耐強い子どもを育ててほしい。</p> <p>○不登校とか学力の低い子どもたちへのサポートについて教えてほしい。</p>
--

【二次評価】教育委員会委員による評価（方向性）・一次評価に対する意見

		投入コスト				評価の理由・附帯意見等
		皆減	縮小	維持	拡大	
成 果	向上		C	B	A	○教える側のスキルをあげることは読み取れるが、受ける側については主体的にならないといけないと思う。主体的になるためには自分自身に問いを投げかけることが大事だと思われる。その部分について真剣に考えていただきたい。
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
		A 成果向上・費用拡大				

出水市実施計画・事務事業評価シート

(評価対象： 2019 年度)

事務事業名		出水ふるさと学寮事業		担当部	教育部	担当課	生涯学習課		
				事業コード	36013	新規	会計	一般	
総合計画上の位置づけ	基本方針	4	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり				事業期間	開始	年度
	施策	2	社会教育の充実					見直	年度
	細施策	2	青少年教育の充実					終了	年度
	取組						経過年数	年	
事業の性質	区分	任意の自治事務		関与性	2	受益の範囲が不特定多数の市民におよび、サービス対価の徴収ができない事務事業			
関連計画等	<input type="checkbox"/> 3つの安心		<input type="checkbox"/> 総合戦略		<input checked="" type="checkbox"/> 教育行政		その他 ()		
事業が必要な理由・根拠 (市民ニーズ、法令等)		本事業各回終了後のアンケートにおいては、参加者からは「また参加したい」「手伝いをしたい」、保護者からは「また参加させたい」「自立した生活ができる」などの意見が寄せられており、ニーズが高いものだと考える。							
対象 (だれを)		市内の小学3年生 (義務教育学校3年生) から中学3年生 (義務教育学校9年生) までの児童・生徒							
意図 (どうしたいか) ※期待する効果		○自主性・協調性を身に付ける。 ○感謝の気持ちや思いやりの心を育む。 ○家族や友達、地域との関りを見つめ、これからの自分を考える。 ○地域への愛着を深める。							
手段 (どのように)		異年齢での集団生活体験として、日常生活 (掃除・洗濯・料理・整理整頓等) を参加者が主体的に行う。							

1 行動計画 (実績と計画)

<実績> (実施場所：たかおの交流館 参加者負担金<1人当たり>：長期5,000円 短期2,600円)				
	実施回数	応募者数	参加者数	
2017年度	3回	159人	95人	※各回定員32人
2018年度	3回	144人	92人	※各回定員32人
2019年度	3回	185人	95人	※各回定員32人
<計画>				
	計画回数	定員		
2020年度	2回	各回32人	※長期 (6泊7日) 短期 (3泊4日)	
※2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、第1回を中止。第2回については、開催時期及び方法等について、検討中。				

2 コスト (単位：千円)

区分		2017決算	2018決算	2019決算	2020予算	2021見込	2022見込
事業費	直接事業費		564	645	665	665	665
	国庫支出金						
財源	県支出金						
	地方債						
	その他		406	334	243	243	243
	一般財源		158	311	422	422	422

3 指標達成状況

指標名		単位	2017	2018	2019	2020	達成率	最終目標	最終年度
① 成果	保護者事後アンケート満足度	%	目標	70	70	70	90.00%	80%	
			実績	60	68	63			
②			目標						
			実績						
③			目標						
			実績						
④			目標						
			実績						

目標：上位2項目 (いつでもできる、だいたいできる) の値

4 分析・検証

評価の視点	項目	理由	判定	
妥当性	継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や市民のニーズはあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	毎回定員を超える申込みにより、ニーズの高さが窺えるため、事業を継続していくべきである。	2
	市関与の必要性 (市が主体で取り組むべき事業か)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	学校生活における課題や問題点を十分把握し対応することが求められるため、学校や家庭との連携が不可欠であることから、教育委員会で主体的に取り組む必要性がある。	
	役割分担の適切性 (「個人」や「自治会」レベルで担える部分はないか)	<input type="checkbox"/> 課題はない <input checked="" type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	事業の一部を委託したり、ボランティアを要請するなどして、職員の負担軽減を図る必要がある。	
有効性	目標の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	事業終了後の保護者アンケートを実施しているが、目標値の70%をやや下回っている。	2
	手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 課題はない <input checked="" type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	事業終了後、従事者アンケートにより改善点等の抽出に努めているが、実施に至らない部分がある。	
	他団体との連携 (国・他自治体、企業、団体等と連携、活用により成果向上が図れないか)	<input type="checkbox"/> 課題はない <input checked="" type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	体験活動実施の際は、他団体等の協力を得ているが、職員の負担軽減を図るための、調理補助等において、青年団体に声かけを行ったが、勤務の調整等もあり、実施に至らなかった。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 課題はない <input checked="" type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	事業終了後、従事者アンケートにより改善点等の抽出に努めているが、実施に至らない部分がある。	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	支出のほとんどが生活に必要なものであるため、削減の余地はない。	
	財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	受益者負担として参加費を徴収しており、金額も適正であると考えている。	

5 方針（分析・検証結果を元に対応方針を検討する）

評価者	生涯学習課長 小田 大吉
-----	--------------

総合評価	妥当性				課題への対応策・業務改善についての方向性		
	0点	1点	2点	3点			
有効性・効率性	いずれか0点	D	C	C	毎回定員を超える申込みがあることや終了後のアンケートにおいて再度の参加を希望する意見があることにニーズの高さが表れており、事業は継続すべきものと考えられる。 しかし、食事の支度や生活指導、宿直、送迎等職員の負担が大きいことから、ボランティアや事業の一部を外部委託する等負担軽減を図っていかねばならない。 社会教育委員の会議においても業務改善の視点から指摘があり、今後、回数や日数を減らすべきかどうか検討している。 また、事業で学んだことを家庭でも継続的に行うことができるようなプログラム・指導方法の検討が必要である。		
	いずれか1点	C	C	C			
	合計4点	C	C	B		B	
	合計5点	C	B	B		A	
	合計6点	C	B	A		A	
B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要						
前年評価	B		前々年評価				
今後の方向性	投入コスト（人件費含む）				成果の方向性 (どのくらいの成果を見込むか)	コストの方向性 (直接事業費、投入職員数)	
	皆減	縮小	維持	拡大			
	成果	向上		C	B	A	参加した児童生徒及び保護者のアンケート結果からは、一定の効果があることが分かる。毎回、募集定員を上回る応募があることから、継続して事業を実施する必要がある。
		維持		E	D		
		縮小		F			
休廃止		G					
E	成果維持・費用縮小				＝ 効率性の向上	前年度 施策評価方針 D	

出水市教育委員会事務事業 外部評価・二次評価シート

事業名	出水ふるさと学寮事業	事業コード	36013
		番号	

位置づけの	出水市の教育	施策名(重点)	
		施策名(努力点)	
	総合計画	基本方針	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり
		施策	社会教育の充実
細施策			
一次評価	総合評価	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
	今後の方向性	E	成果維持・費用縮小

【外部評価】出水市教育事務点検評価会議からの意見・助言・質問等

○保護者アンケートを取られているが、参加した児童生徒のアンケート結果を教えてください。

○ふるさと学寮は、教育的効果が非常に大きいものと感じている。従事者のアンケートによる改善等ということが記入してあるが、具体的な方法を教えてください。

○食事の準備が大変であるとのことだが、ボランティアを活用してみたらどうかと思う。また、体験活動の工夫については、青年の家との連携を深めれば改善できる部分もあると思う。

○ボランティアに関しては、設置に関して工夫が必要だと思う。鹿児島大学のワンダーフォーゲル部や他の大学の野外活動研究会とかと連携してしてみたらどうか。

○マンパワーが必要であれば、人件費を増やすべきだと思う。

【二次評価】教育委員会委員による評価（方向性）・一次評価に対する意見

		投入コスト				評価の理由・附帯意見等
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果	向上		C	B	A	○数年前にも本事業の評価をし、同じ課題があった。簡単にクリアできないとは感じている。非常に充実した事業であるので、今後も継続してほしい。 ○達成度の指標として、子供たちの満足度も評価にいれたらどうか。 ○他団体との連携を図り、青年の家で開催をしてみたらどうか。 ○必要である予算はしっかりと計上してもらい、成功例や失敗例をしっかり検証したうえで改善できるところは改善してもらいたい。 ○目的に返ることが大事である。また、多様性が必要であると考えられる。事業が分かっている人がやっても従来の延長になることがある。
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D		成果・費用とも維持				

出水市実施計画・事務事業評価シート

(評価対象： 2019 年度)

事務事業名		出水商業デパート		担当部	教育部	担当課	出水商業高等学校		
				事業コード	43002	新規		会計 一般	
総合計画上の位置づけ	基本方針	4	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり				事業期間	開始	年度
	施策	3	学校教育の充実					見直	年度
	細施策	4	地域に根差した学校教育					終了	年度
	取組	6	高校教育の充実				経過年数	年	
事業の性質	区分	任意の自治事務		関与性	2	受益の範囲が不特定多数の市民におよび、サービス対価の徴収ができない事務事業			
関連計画等	<input type="checkbox"/> 3つの安心		<input type="checkbox"/> 総合戦略		<input checked="" type="checkbox"/> 教育行政		その他 ()		
事業が必要な理由・根拠 (市民ニーズ、法令等)	商業教育のより一層の充実・発展を目指すとともに、地域に根ざした特色ある学校づくりを推進するため								
対象 (だれを)	市民等								
意図 (どうしたいか) ※期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方に来場してもらい、商業高校を知ってもらう。 ・地域社会と連携を図り、協力を得ながら、地域に根ざした特色ある学校づくりを目指す。 ・接遇教育・体験学習を通して、実社会へ出てからの心構えを身につけさせる。 								
手段 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館内を主な会場として、生徒が仕入れから販売、会計までを行う。 また、この学習を通して、生徒は知識・技能・態度等を習得する。 								

1 行動計画 (実績と計画)

○ 来場者数	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 2,165人 ・平成30年度 2,595人 ・令和元年度 2,450人 	○ 12クラス全店舗の総売上	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 145万円 ・平成30年度 151万円 ・令和元年度 127万円 	※売上金から商品代金、経費等支払う。
○ 店舗数	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 14 (地元特産品、野菜、家庭用品、食料品、県内高校生産品ほか) ・平成30年度 14 (") ・令和元年度 14 (") 	(内訳：各クラス1店舗(12店舗)、テナント(ふく鶴むなかた、パン工房麦穂) (上記店舗のほか、PTAによるバザー、フードコーナー(R1業者に依頼)あり)		
※ 出水商業デパートは、利益が目的ではなく、学習の一環として、商業教育の一層の充実・発展を目指し、地域に根ざした特色ある学校づくりを目的としている。				
※ コストは、前年度繰越金と全クラスからの借入金(決算後返金)を運転資金としており、市費の投入はない。				

2 コスト (単位：千円)

区分	2017決算	2018決算	2019決算	2020予算	2021見込	2022見込
事業費						
直接事業費						
財源						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他						
一般財源						

3 指標達成状況

指標名	単位	2017	2018	2019	2020	2019達成率	最終目標	最終年度
① 成果 来場者数	人	目標	2,500	2,500	2,500	98.00%	100%	
		実績	2,165	2,595	2,450			
②		目標						
		実績						
③		目標						
		実績						
④		目標						
		実績						

4 分析・検証

評価の視点	項目	理由	判定	
妥当性	継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や市民のニーズはあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	商業高校をPRする最大のイベントであり、今後も継続して実施していくべきである。	3
	市関与の必要性 (市が主体で取り組むべき事業か)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い		
	役割分担の適切性 (「個人」や「自治会」レベルで担える部分はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	特にないと考える。	
有効性	目標の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	目標には達していないが、毎年目標値に近い来客数である。	2
	手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 課題はない <input checked="" type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	レジのバーコード化やタブレットの有効な活用方法を検討する必要がある。	
	他団体との連携 (国・他自治体、企業、団体等と連携、活用により成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	令和元年度は、フードコーナーを市内の3業者に依頼し、大盛況であった。今後も業者に依頼していく予定である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 課題はない <input checked="" type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	・業者によって、担当者が商品を受け取りに回っており、他の方法等検討する必要がある。 ・長机60、座卓10等、毎年米ノ津公会堂から生徒が運搬しており、今後、改善方法等検討する。	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	事業に対して、直接的な市費の投入はない。	
	財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い		

5 方針（分析・検証結果を元に対応方針を検討する）

評価者	事務長 宇都 眞由美
-----	------------

総合評価	妥当性				課題への対応策・業務改善についての方向性		
	0点	1点	2点	3点			
有効性・効率性	いずれか0点	D	C	C	商業高校として、実践的な場であり、専門性を活かす最大のイベントである。市民からも期待も大きい。事業は改善をしながら継続していくべきものとする。改善点として、現在、手打ちのレジを使用しているため、今後はバーコードリーダーを使用するレジを考えていく必要がある。そのためには、バーコードリーダーの準備等や商品登録方法等検討していく必要がある。また、令和元年度には、タブレットを使用して商品の紹介やアンケート回答を試みた。今後も有効的活用方法を検討していく必要がある。		
	いずれか1点	C	C	C			
	合計4点	C	C	B		B	
	合計5点	C	B	B		A	
	合計6点	C	B	A		A	
B		課題が少しあり業務の一部見直しが必要					
前年評価		前々年評価					
今後の方向性	投入コスト（人件費含む）				成果の方向性 (どのくらいの成果を見込むか)	コストの方向性 (直接事業費、投入職員数)	
	皆減	縮小	維持	拡大			
	成果	向上		C	B	A	お客様アンケートの結果からも一定の評価を得ており、来客数も目標値を少し下回ってはいるが、安定はしている。今後も、内容の充実・改善を図りながら実施していく必要がある。
		維持		E	D		
		縮小		F			
休廃止		G					
B		成果向上・費用維持			＝ 生産性向上	前年度 施策評価方針	

出水市教育委員会事務事業 外部評価・二次評価シート

事業名	出水商業デパート	事業コード	43002
		番号	

位 計 画 づ け の	出水市の教育	施策名（重点）	高校教育の充実
		施策名（努力点）	特色ある学校づくり
	総合計画	基本方針	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり
		施策	学校教育の充実
	細施策	高校教育の充実	
一 次 評 価	総合評価	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
	今後の方向性	B	成果向上・費用維持

【外部評価】出水市教育事務点検評価会議からの意見・助言・質問等

<p>○キャッシュレスの対応を考えてみたらどうか。</p> <p>○学習の一環であるならば、机等の搬入搬出はやむを得ないと思う。</p> <p>○市内中心部への開催会場の検討をしてみたらどうか。</p> <p>○時代に即した運営の工夫をしてほしい。</p>
--

【二次評価】教育委員会委員による評価（方向性）・一次評価に対する意見

		投入コスト				評価の理由・附帯意見等
		皆減	縮小	維持	拡大	
成 果	向上		C	B	A	○前例主義も大事だが、時代に合った企画の見直しも必要であると考え る。
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
B		成果向上・費用維持				

出水市実施計画・事務事業評価シート

(評価対象： 2019 年度)

事務事業名		わんぱくトライアル			担当部	教育部	担当課	出水市青年の家			
					事業コード	39007	新規		会計	一般	
総合計画上の位置づけ	基本方針	4	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり					事業期間	開始		年度
	施策	2	社会教育の充実						見直		年度
	細施策	2	青少年教育の充実						終了		年度
	取組							経過年数		年	
事業の性質	区分	任意の自治事務		関与性	2	受益の範囲が不特定多数の市民におよび、サービス対価の徴収ができない事務事業					
関連計画等	<input type="checkbox"/> 3つの安心		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		<input checked="" type="checkbox"/> 教育行政		その他 ()				
事業が必要な理由・根拠 (市民ニーズ、法令等)		異年齢集団での体験活動を通して、健全な青少年の育成を図る。									
対象 (だれを)		市内小学4年生以上、中学生									
意図 (どうしたいか) ※期待する効果		ふるさとを愛する心、協調性、忍耐力を培う。									
手段 (どのように)		異年齢集団により2泊3日で、自然体験活動、歴史探訪、レクリエーション等の体験活動を実施する。									

1 行動計画 (実績と計画)

令和元年度実績	
1	期日：令和元年8月7日(水)～9日(金)
2	参加者数：小学生30人(定員30人に応募42人)、中学生4人(定員10人に応募4人)
3	活動内容 (※活動補助員として高校生ボランティア6人を活用した。) ○仲間と協力しよう：テント設営、野外炊飯 ○自然と遊ぼう：キャンプファイヤー ○自然を学ぼう：星空観察、自然観察 ○思い出を作ろう：記念品クラフト活動等
4	参加費：4,000円(中学生については、市子連から半額補助)
5	申込方法 小学生は申込書を学校へ、中学生は生涯学習課へ提出。
令和2年度計画	
1	期日：令和2年8月5日(水)～7日(金)
2～5	参加者定員、活動内容、参加費及び申込方法は、前年度同様。
※活動補助員として、高校生ボランティアを活用する。	

2 コスト (単位：千円)

区分		2017決算	2018決算	2019決算	2020予算	2021見込	2022見込
事業費	直接事業費	180	304	226	240	240	240
	財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他	116	184	136	160	160	160
	一般財源	64	120	90	80	80	80

3 指標達成状況

指標名		単位	2017	2018	2019	2020	達成率	最終目標	最終年度
① 成果	参加者の満足度	人	目標	42	46	34	100.00%		
			実績	41	45	34			
② 成果	定員に対する参加者数	人	目標	45	45	40	85.00%	40人	
			実績	42	46	34			
③			目標						
			実績						
④			目標						
			実績						

4 分析・検証

評価の視点	項目	理由	判定	
妥当性	継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や市民のニーズはあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	小中学生を対象とした宿泊を伴う体験型活動事業は他に無いことから、事業の継続は必要である。	3
	市関与の必要性 (市が主体で取り組むべき事業か)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	健全な青少年育成を目的としており、市主体で取り組むべき事業であるので、必要である。	
	役割分担の適切性 (「個人」や「自治会」レベルで担える部分はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	野外活動において、周辺自治会への理解や協力を得ながら実施しているので課題はない。	
有効性	目標の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	参加者へのアンケートの結果は、34人中「とても満足」が25人、「満足」が8人、「まあまあ満足」が1人で「不満」は0人で、34人全員が満足の意向を示しており、十分に目標を達成している。	2
	手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	健全な青少年育成には、自然体験活動を伴う宿泊体験は有効な手段である。	
	他団体との連携 (国・他自治体、企業、団体等と連携、活用により成果向上が図れないか)	<input type="checkbox"/> 課題はない <input checked="" type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	本市にある環境省出水自然保護管事務所等と連携し、ふるさとの自然についての体験活動等、専門性の高いふるさとの自然や歴史について体験の幅が広がるように取り入れていきたい。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 課題はない <input checked="" type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	野外活動で、特にマウンテンバイクでの活動は、やや危険な面もあるので、安全管理を充分に行う必要がある。	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	最低限の支出で実施しており削減の余地はない。	
	財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はない <input type="checkbox"/> 課題が少しある <input type="checkbox"/> 課題が多い	食費や随い材料、宿泊に伴う施設利用料等を参加料として徴収している。	

5 方針（分析・検証結果を元に対応方針を検討する）

評価者	所長 松下 孝
-----	---------

総合評価	妥当性					課題への対応策・業務改善についての方向性		
	0点	1点	2点	3点				
有効性・効率性	いずれか0点	D	C	C	C	夏場の暑い中での事業であり、熱中症対策が重要である。特に野外活動時には、軽トラック等に、冷たい麦茶やスポーツ飲料や水に冷やしたタオル等を車に載せ同行し水分補給等に努める。森林の中での座学や安全な水辺での自然体験活動等、涼感を感じられるプログラムの検討も必要と考える。		
	いずれか1点	C	C	C	C			
	合計4点	C	C	B	B			
	合計5点	C	B	B	A			
	合計6点	C	B	A	A			
	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要						
	前年評価	B		前々年評価				
今後の方向性	投入コスト（人件費含む）					成果の方向性 (どのくらいの成果を見込むか)	コストの方向性 (直接事業費、投入職員数)	
	成果	皆減	縮小	維持	拡大	体験活動の重要性が指摘される中、非常に有意義な事業である。今後も自然の中での体験活動や仲間づくりをすることで、郷土を愛する青少年の育成に努めなければならない。	適正な参加費を徴収しており、現状維持。	
		向上		C	B			A
		維持		E	D			
縮小			F					
休廃止	G							
	B	成果向上・費用維持				生産性向上	前年度 施策評価方針	B

出水市教育委員会事務事業 外部評価・二次評価シート

事業名	わんぱくトライアル	事業コード	39007
		番号	

位 計 画 づ 上 げ の	出水市の教育	施策名（重点）	研修活動の内容・方法の充実
		施策名（努力点）	郷土「出水」の良さを生かした特色ある主催事業や研修プログラムの展開
	総合計画	基本方針	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり
		施策	社会教育の充実
細施策			
一 次 評 価	総合評価	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
	今後の方向性	B	成果向上・費用維持

【外部評価】出水市教育事務点検評価会議からの意見・助言・質問等

○スマホ・ゲームしか遊びを知らない子どもたちへレクリエーションを教えてみたらどうか。

○事業拡大を図ってほしい。

○女性団体、高齢者団体との連携強化を図ってみたらどうか。

【二次評価】教育委員会委員による評価（方向性）・一次評価に対する意見

		投入コスト				評価の理由・附帯意見等
		皆減	縮小	維持	拡大	
成 果	向上		C	B	A	○今回の評価の対象ではないが、令和2年度の実施についてコロナ禍の中、実施期間を通常の2泊3日から1泊2日に短縮したり、密を避けるため対策をうまく工夫されていたと感じた。
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
		B 成果向上・費用維持				